

## 折り鶴に託された思いを昇華させるための方策の策定について

### 1 目的

平和記念公園の「原爆の子の像」には、国内外から年間約 1,000 万羽、重さにして 10 トン以上の折り鶴が捧げられている。これらの折り鶴の一枚一枚には、平和への思いと祈り、夢や願いが託されており、この世界中の人々から託された思いを大切に、平和への思いに応える努力をすることは、広島市の果たすべき責務である。

この責務を果たすうえで、折り鶴に託された思いを誠実に受け止め、折り鶴を捧げた人々の平和を願う思いを多くの市民と共有し、祈りを込めてこの尊い「思い」を昇華させることは大変重要であり、この「昇華」を通して折り鶴に託された平和への思いを発信することにより、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う輪のさらなる広がりが期待できる。

このため、市民等から募集するアイデアや意見、事業の試行実施による検証結果などを踏まえながら、折り鶴に託された思いを昇華させるための方策を検討し、年度内に今後の具体的な取組方針をとりまとめる。

### 2 策定方法

#### (1) 市民等からのアイデア・意見募集

折り鶴に託された平和への思いを昇華させるための具体的な方法等について、市民、折り鶴寄贈者、関係団体など、広く国内外からアイデアや意見を募集する。（別添「募集要領」のとおり。）

#### (2) 事業の試行実施

(1)により寄せられたアイデア等のうち、直ちに実現できるアイデア及び実施・運営者を選定し、平和記念式典の時期にあわせて試行実施する。

#### (3) 検討委員会による方策の検討

有識者や専門家（平和関係、教育関係、古紙再生関係、報道機関等）で構成する検討委員会を設置し、募集したアイデアや意見、事業の試行実施による検証結果等を踏まえ、折り鶴に託された思いを昇華させるための方策のとりまとめを行う。

### 3 スケジュール

6 月 1 日～7 月 29 日	・方策に関するアイデア・意見募集 ・試行実施する企画及び実施・運営者の選定
8 月 5 日～8 月 10 日	・事業の試行実施
9 月～2 月	・検討委員会における方策の検討、とりまとめ